

「根の研究」のバックナンバーについて

「根の研究」のバックナンバーの在庫は、以下のようになっております。すでにすべての号が揃うのは第2巻と今年度のみとなっております。今後、増刷する予定はありません。日本の根の研究史に係る重要な一次資料でありますので、是非この機会にお求め下さい。なお、事務局の労力を軽減するために巻単位の取り扱いとさせていただきますが、その代り、若干の値引きをさせていただきます。ファックスあるいは電子メールで必要な巻をお知らせ下さい。在庫を確認後、お送り致しますので、到着後、郵便振替（会費と同じ口座）で代金をお送り下さい。

第1巻：残り11セット（4号欠）＝ 500円
第2巻：残り34セット（全号揃）＝ 1000円
第3巻：残り19セット（1号欠）＝ 1000円
第4巻：残り19セット（3号欠）＝ 1000円

作物根コロキウム(9)に参加して

森田茂紀（東京大学大学院農学生命科学研究科）

1996年10月3日、秋田大学で開催された第202回日本作物学会講演会における小集会の一つとして、作物根コロキウム(9)を開催し、座長を務めた。今回は不耕起栽培をテーマに、以下のお二人の方々に話題提供をお願いした。

佐藤照男（秋田県立農業短期大学）「不耕起水田の土壌間隙構造とその機能」
辻 博之（農業研究センター）「不耕起畑の根の特徴」

佐藤氏からは水田における土壌、また辻氏からは畑における作物の根に着目したお話を頂いたため、議論に入っても相互に議論が噛みあうことが多く、活発な意見の交換が行われた。一般講演終了後にも係らず、参加者は約30名であった。

稲作と根系に関する国際ワークショップの開催と イネの根に関する国際ワーキンググループの発足

阿部 淳（東京大学大学院農学生命科学研究科）

私たちはトヨタ財団からの研究助成を受けて、1995年11月から1997年10月までの2年間の予定で、「環太平洋地域における環境保全型・低投入持続性イネ多収栽培確立のための根系の戦略的管理に関する国際共同研究」という長いタイトルを持つプロジェクトを進めている。このプロジェクトの目的は、異なる生態条件のもとで、異なる遺伝的バックグラウンドを持ったイネ品種を、異なる様式で栽培した場合の根系の実態調査を行ない、根系管理について議論することである。

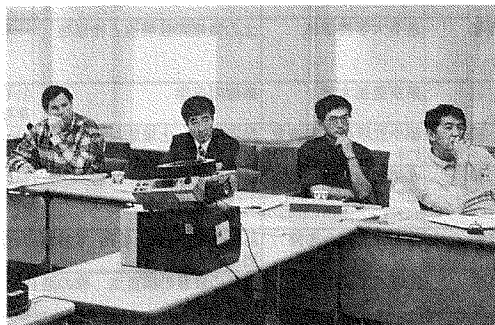
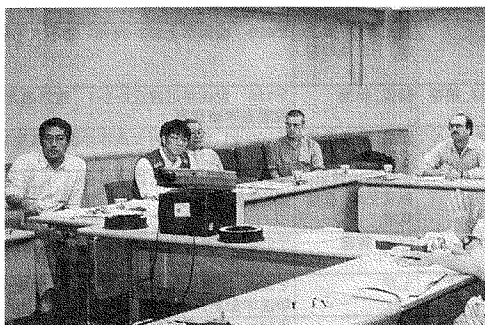
このプロジェクトの出発点になったのは、1995年8月22日に福井県立大学で開催された第2回アジア作物学会議のミニシンポジウム「イネの理想型根系」（第3回J S R Rシンポジウムとして位置付けている）である。このシンポジウム開催直後にトヨタ財団の助成を受けることが決定し、活動を継続することができた。今回のワークショップは上記のプロジェクトの1年目の取りまとめのためのものであり、以下のような内容であった。ただし、今回は予算の関係でプロジェクトメンバーを全員招待しておらず、反対にメンバー以外の日本人専門家にご参加を頂いた。

第1部 異なる生態条件における稲作の概要

座長：山内章（名古屋大学農学部）・鯨 幸夫（金沢大学教育学部）
日本の稲作0 八郎潟における稲作のビデオの上映
日本の稲作1 直播栽培：小柳敦史（農業研究センター）
日本の稲作2 乳苗移植栽培：森田茂紀（東京大学大学院）
日本の稲作3 不耕起栽培：阿部淳（東京大学大学院）
韓国における稲作：Jin Chul Shin（国立作物試験場、韓国）
東南アジアにおける稲作：Len Wade（国際イネ研究所、フィリピン）
アメリカにおける稲作：Craig Beyrouy（アーカンソー大学、アメリカ）

第2部 稲作における根の研究

座長：飯嶋盛雄（名古屋大学農学部）・小柳敦史
根系調査法1 モノリス法：阿部淳・森田茂紀
根系調査法2 ミニリソトロン法：Craig Beyrouy
地上部/地下部関係1 根系のモデリング：Jin Chul Shin
地上部/地下部関係2 根系のアーキテクチャー：森田茂紀・阿部淳
遺伝と環境の交互作用：鯨 幸夫
天水栽培水稻の根の形質の遺伝的変異：Len Wade



左から、飯嶋盛雄、小柳敦史、鯨幸夫、マーク・リーフリング（オブザーバー）レン・ウェイド、ブレッグ・ペイルーティ、シン・ジンチュル、阿部淳、山内章の各氏。

ワークショップ終了後のビジネスミーティングにおいて、このワークショップを機会に「イネの根に関する国際ワーキンググループ：Rice Root International Working Group（仮称）」を正式に発足させ、阿部 淳を代表、ペイルーティ氏を副代表とすることを決めた。また、1997年9月11日と12日に東京大学山上会館で開催される第4回J S R Rシンポジウムに積極的に協力することを確認した。